

決算

一般会計の 歳入・歳出

平成29年度の一般会計決算額は、歳入(町に入ったお金)が86億4545万円、歳出(町が使ったお金)が81億8638万円、差し引き収支が4億5907万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源の繰越明許費の380万円、事故繰越し3561万円を除くと実質収支額は4億1966万円の黒字となりました。

また、歳入歳出に含まれていない実質的な黒字要素となる積立金と、赤字要素となる積立金の取り崩しを含めた実質単年度収支は3億1586万円の赤字となっています。

この赤字は、財政調整基金4億8036万円の取り崩しを行ったことによるものです。

●表①歳入内訳

歳入の一番大きい項目は町税であり、前年度より22

●表②目的別歳出内訳

歳出の主なものを「目的別」で見ると、全体の33・5

平成29年度の町の決算概要をお知らせします。昨年度中、町にどんなお金が入ってきて、どんな使われかたをしたのかご覧ください。また、現在の町の財政状況についても、国が定める指標に基づいて公表します。

●表①歳入内訳

	29年度歳入額	説明	対前年度増減率
歳入総額	86億4,545万円	—	11.8%
自主財源	町税	町民税、固定資産税、軽自動車税など	0.8%
	繰入金	基金や特別会計から一般会計に入った金額	270.5%
	諸収入	延滞金や加算金、預金利子、雑入など	1.4%
	分担金	受益の程度によって徴収する負担金	2.9%
	使用料	町の施設等を利用者が負担した金額	▲2.9%
	その他	上記以外の財産収入や繰越金など	▲3.3%
依存財源	地方交付税	国税から一定割合で交付されるお金	▲11.1%
	国庫支出金	事業実施のため国から交付されるお金	17.5%
	町債	町の事業のために借入される収入	66.0%
	県支出金	事業実施のため県から交付されるお金	29.7%
	地方消費税交付金	消費税のうち町に配分されるもの	6.3%
	その他	上記以外の地方譲与税や交付金など	13.1%

●表②目的別歳出内訳

目的別	29年度歳出額	説明	対前年度増減率
歳出総額	81億8,638万円	—	10.4%
民生費	27億4,158万円	児童から高齢者まで福祉全般の経費	9.8%
総務費	13億8,243万円	財産管理など役場運営全般的な経費	37.1%
教育費	11億6,044万円	小・中学校など教育関係の経費	40.5%
衛生費	10億661万円	健康・衛生的な生活のための経費	▲16.8%
土木費	6億7,701万円	道路、橋、街路整備・改良、町営住宅管理	16.0%
公債費	4億8,536万円	町が借り入れた借金の返済金	▲9.8%
消防費	2億9,546万円	消防や防災対策のための経費	2.4%
商工費	1億9,068万円	商工業の振興や観光事業などの経費	▲15.8%
農林水産業費	1億2,803万円	農業委員会の運営や農業振興経費など	7.9%
議会費	1億441万円	町議会を運営するための経費	▲0.3%
労働費	1,231万円	シルバー人材センターに対する補助金等	4.2%
諸支出金	206万円	その他の支出金	472.2%

%を占める民生費は民間保育所を整備するための保育所施設整備補助金の増により、前年度と比較し9・8%増の27億4158万円、総務費は新たに公共施設等整備基金を設立し、3億2000万円を積み立てたことにより37・1%増の13億8243万円、教育費は中央公民館複合化改修工事、学校給食センター用地取得などにより40・5%増の11億6044万円、衛生費は仙南クリーンセンター整備事業が完了したことによる仙南地域広域行政事務組合負担金の減などにより、16・8%減の10億661万円、土木費は町道の舗装補修工事の増などにより16・0%増の6億7701万円となりました。商工費では川根工業団地の整備が終了したことにより15・8%減の1億9068万円となりました。

●表③性質別歳出内訳

次に、歳出を「性質別」で見ると、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)では人件費において職員数の減により2・4%減の14億368

●表③性質別歳出内訳

性質別	29年度歳出額	説明	対前年度増減率
歳出総額	81億7,341万円	—	10.5%
義務的経費	人件費	職員や特別職の給与、共済組合負担金など	▲2.4%
	扶助費	児童・老人福祉など法に基づく援助や教育扶助	3.1%
	公債費	町が借り入れた借金の返済金	▲9.5%
投資的経費	普通建設事業	道路や公民館等、町の公共施設の建設事業経費	120.1%
	補助費等	仙南広域や中核病院負担金など	5.4%
	物件費	消耗品費や委託料など消費的な経費	2.9%
	繰出金	各特別会計への繰出金	▲9.7%
	積立金	基金に積み立てるお金	6,431.4%
	維持補修費	町の施設等を修繕し正常に保つための経費	59.0%
	投資及び出資金	中核病院負担金のうち建設事業に対し負担する経費	2.5%
	その他	上記以外の貸付金など	皆減

※上記の性質別歳出内訳は、地方財政状況調査要領に基づく分析数値のため、目的別歳出内訳の額と相違があります。

町民一人当たり(※)の 町税負担額 総額 120,908 円	
町民税 53,496 円	固定資産税 46,947 円
都市計画税 8,999 円	町たばこ税 8,510 円
軽自動車税 2,654 円	入湯税 302 円

※平成30年3月31日現在の人口23,558人で算出しています。

町民一人当たり(※)の 財政支出額 総額 347,499 円		
民生費 116,376 円	総務費 58,682 円	教育費 49,259 円
衛生費 42,729 円	土木費 28,738 円	公債費 20,603 円
消防費 12,542 円	商工費 8,094 円	農林水産業費 5,434 円
議会費 4,432 円	労働費 523 円	諸支出金 87 円

6万円、扶助費においては民間保育所への保育給付の増により3・1%増の14億5112万円、公債費では前年度までに行った繰上償還

による元利償還金の減少により9・5%減の4億8742万円、義務的経費全体では1・3%減となりました。投資的経費(普通建設事業

費・災害復旧費では、稗田前集会所整備事業、中核病院西線改良工事、中央公民館複合化改修工事、学校給食センター整備事業により120・340万円となりました。

1%増の8億5825万円、補助費等では民間保育所施設整備に対する補助金等の増により5・4%増の11億9

